

KITAG MISSION START!

一般事務員 社会福祉



保健福祉局 保護課 (平成29年度入職)

入職後の経歴		
平成29年度	入職	小倉北区役所 保護第二課
令和2年度	異動	保健福祉局 障害者支援課
令和5年度	異動	保健福祉局 保護課



Q 北九州市役所を志望したきっかけを教えてください。

A 社会福祉士資格を取得する際に、八幡西区役所保健福祉課へ実習に行ったことがきっかけです。どの職場でも熱い思いを持って取り組んでいる職員の姿が印象的で、私もそうなりたいと思いました。

Q 現在担当している業務の内容を教えてください。

A 生活保護を受給されている方の医療扶助・介護扶助を適正に実施する、適正化事業の業務を担当しています。医療扶助・介護扶助の支払いや生活保護指定医療機関・介護機関の登録のほか、医療機関や市民からの問い合わせや相談も受けています。医療機関から困難な事例の相談があった際に、制度や法律を調べたことで解決に至った事例が印象に残っています。市民の方に対しては、生活状況やこれまでの経緯といった背景を知り、気持ちに寄り添うよう心がけています。

Q 業務に取り組む中で、どのような点に仕事のやりがいや面白さを感じますか。

A 事業全体の流れを知ることができる点に面白さを感じています。データを集計する作業は大変ではありますが、生活保護費の約半分を医療扶助費が占めているといった実態がわかり、適正化事業の必要性が理解できます。私が作成したデータは予算を編成し事業を実施する根拠となるため責任も重大です。また、異動前にケースワーカーとして行っていた業務がどういった流れで実施に至るのか、どういった目的で行われているのか、そしてどのような結果をもたらしているのかが理解できるので、生活保護制度全体への理解もより深まったと思います。

Q 現在の担当業務以外で印象に残っている業務を教えてください。

A 障害者支援課での障害福祉サービス事業所の指定・指導業務が印象に残っています。事業所が事業にける思いを直接聞き、事業の実現に向けて支援ができたことにやりがいを感じました。異動によって様々な立ち位置で仕事をする機会があるので、より柔軟に、多様に考えることができるようになってきていると思います。

Q 職場の雰囲気や働きやすさについて教えてください。

A 新規採用されて初めての職場が生活保護のケースワーカーだったため「私に務まるだろうか」と不安に思っていました。しかし、入職から1年間、職場の先輩職員が助言や支援をしてくれる「ブラザー・シスター制度」をはじめ、新規採用職員のフォロー体制が整っているので、安心して働くことができました。

Q 北九州市役所で働くことに興味を持つ皆様に向けて、メッセージをお願いします!

A ケースワーカーとして市民の方に直接接する仕事や、サービスを提供する事業者と関わる仕事、予算や事業の実施に関する仕事など、社会福祉に関する業務を幅広く経験でき、専門外の仕事に挑戦する機会もある、やりがいのある職場だと思います。幅広く業務を経験しながら、自分の適性に応じてキャリアプランを考えることができ、ブラザー・シスター制度や研修等、入職した際の支援も充実しているので、社会人経験のある方はもちろん、新卒で入職する方にもおすすめです。

様々な立場で社会福祉を実践できる職場です。

MISSION

Q 北九州市役所であなたがクリアしたいミッション(夢)を教えてください。

A より幅広い分野の業務を経験し、福祉職のエキスパートになりたいです。そして、生きづらさを抱える人が少しでも暮らしやすくなるように障壁を一つでも取り除き、「誰もが暮らしやすいまち」になるよう尽力したいと思っています。

